

概要

- 我が国の多様な文化遺産に関する情報を、①誰もがいつでも容易にアクセスできる環境を整備し、②文化財の保存・継承・発展を図り、③コンテンツの利活用や情報発信を進めるため、文化遺産のデジタルアーカイブ化を推進
- このため、全国の博物館・美術館等におけるデジタルアーカイブ化を促進するとともに、それらの情報を集約し、求める情報を容易に検索できる機能を持ったポータルサイト「文化遺産オンライン」を構築(主に以下の情報を収集)
 - ① 全国の博物館・美術館等の所蔵品(国宝・重要文化財を含む)
 - ② 国指定文化財(建造物、美術工芸品、史跡名勝天然記念物、無形文化財、民俗文化財等)
- また、文化財が消失等した場合に復元するための資料として活用するため、国指定等文化財の詳細記録(設計図等)もデジタルアーカイブ化

機能①(所蔵作品の紹介)

情報を提供する博物館・美術館の所蔵品を含め、文化遺産オンラインの全ての情報を検索できる

- ・掲載件数：263,694件
- ・提供館数：193館

機能③(動画で見る無形の文化財)

伝統工芸・民俗芸能などの無形文化財の動画を公開(工芸技術記録映画等)
例)「竹工芸－藤沼昇のわざー」(約10分)

機能②(美術館・博物館情報)


全国の美術館・博物館の所在地・ホームページURL等の情報を掲載

- ・掲載館数：1,006館

※数値はいずれもR1年10月時点



情報登録

博物館・美術館 

他機関との連携



検索・閲覧

これまでの主な取組

【参加館の利便性向上】

- ・作品を登録した参加館が、自館のサーバにデータベースを用意することなく、登録作品を自館のホームページ等から検索して閲覧できる機能。
- ・作品を登録した参加館が、文化遺産オンラインのサーバ上に館ごとの個別のウェブページを作成し、所蔵品などの情報を公開できる機能。各館の独自ホームページとしても活用できる。

【他機関との連携】 *文化遺産オンラインからは、国指定等文化財に係るデータを連携

- ・ジャパンサーチ(試験版)(国の分野横断統合ポータル)*とのデータ連携
- ・国立国会図書館サーチ*やColBase (国立博物館所蔵品統合検索システム)とのAPI連携

今後の取組

- ・参加館とともに、利用者への利便性向上のための取組を進め、利用者の拡大を図る。
- ・ジャパンサーチへの文化財分野の「つなぎ役」として、全国の美術館・博物館が有する他のデータベースとの連携に努め、掲載件数の拡大を図る。

現状・背景

- 我が国の博物館は類似施設も含め5,700館存在するが、人材の不足（1館あたり学芸員1.5人）や、来館者の利便性向上など課題あり。
- 一方、博物館を通じて、多くの人々が、我が国や各地域の文化・歴史・自然に親しむ機会を得ることが可能となり、コミュニティ形成やインバウンド対応などへの貢献も注目。
- 博物館の文化拠点としての機能強化を通じて「文化振興→観光振興→地域活性化」の好循環を創出。

施策の方向性

- ・ 博物館による地域文化発信やコミュニティ形成。
- ・ 文化クラスター（文化集積拠点）による地域文化資源の整備支援。
（人材の配置、コレクションや展示環境改善等）
- ・ 専門人材の養成と質の向上。
（マネジメント層、学芸員）
- ・ 「ICOM京都大会」を契機にレガシーを形成。
（調査研究、持続的な運営、海外ネットワーク）

博物館の機能強化に向けたプラン

地域と共働した創造活動支援事業

- ・ 博物館の資源を活用して、地域文化の発信、学校や地域連携など、コミュニティ形成等へ貢献。
- ・ 博物館が、観光・まちづくり・国際交流などの地域連携に貢献するスタートアップ的な支援。
- ・ 比較的小規模な館でも取組可能。



中学校へのアウトリーチ活動

予算規模：380百万円

博物館クラスター推進事業

- ・ 博物館を中核とした文化クラスター（文化集積拠点）による地域文化資源の整備を支援。
- ・ 地域の観光や産業界との連携のためのコーディネーターや、博物館の魅力を高めるための学芸員やインバウンド支援の職員を配置。
- ・ コレクションの磨き上げ（調査、データベース、多言語等）、展示環境改善、多様な来館者のための利便性向上など来館者の受入と満足度の増を支援。



池田20世紀美術館
中国のスマホ決済「ウィーチャットペイ」導入
中国からの観光客を取り込む
キャッシュレス導入の
クラスターモデル

予算規模：1,490百万円

（審査経費：42百万円）



歴史×食文化×観光の
クラスターモデル

博物館人材養成・質の向上

- ・ 学芸員の資格認定試験
（例年100名受験、40名認定）
- ・ 学芸員等の研修
 - ・ 館長研修（就任1～2年目）
 - ・ 専門研修（中堅レベル学芸員）
 - ・ マネジメント研修（管理職）
 - ・ エデュケーション研修（教育普及担者）
 - ・ 学芸員の海外研修（5～10名派遣）

予算規模：56百万円

博物館レガシー基盤強化事業

- ・ 博物館制度の調査研究（審議会の審議に反映）
- ・ PPP等による持続可能な博物館運営の研究（コンセッションの適用可能性を調査）
- ・ 海外ネットワーク構築（国際会議等に専門家を派遣し、博物館政策の国際的な議論に参画・貢献）

予算規模：33百万円